

中国連雲港市の農村地域における面源汚染浄化システム

実施機関・協力機関

(株)建設技術研究所、ティビーアール(株)、
(株)マサキ・エンヴェック、上海勘测設計研究院

事業の背景

- 農村部からの生活排水、農地排水、畜産排水などの **面源汚染**により、**下流部の出水期の浄水取水に支障**
- 下水道など集合処理を実施するのは**集落は散在しており収集コスト面で、農家各戸での処理は管理コストの面で問題**

実施場所

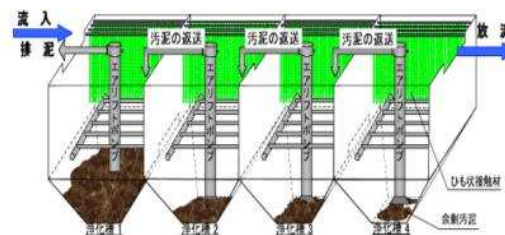
中国 江蘇省 連雲港市



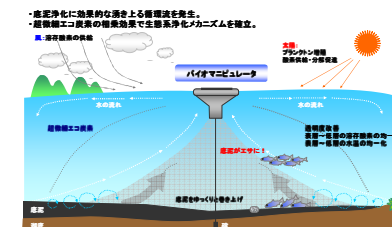
対象地の水路の汚濁状況

導入する技術の概要

①水路対策: ひも状接触酸化法

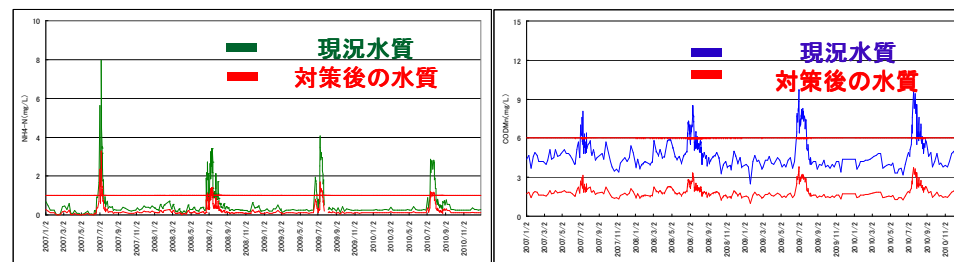


②池内対策: 生産型バイオマニピュレータ



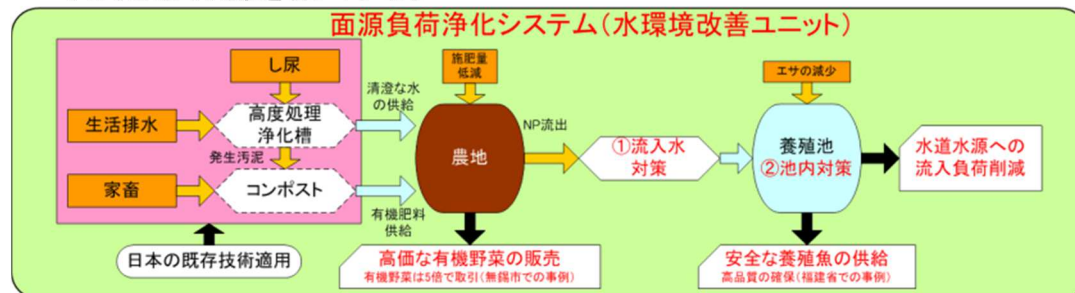
水環境改善効果

- 面源汚染浄化システムを流域全体に導入した場合、水道の取水制限を大幅に低減可能



事業の概要

- 汚染源である農村地区のし尿、家畜糞尿、生活雑排水、農地負荷を対象とした面源汚染浄化システムの構築により、周辺水路・湖沼の水環境改善に寄与し、水道水源を保全する。



事業の有効性

- 流域での水質改善効果大きい
- 安全な水の確保の面からの採算性あり
- 安全な農作物生産により農民の収益が向上し、円滑な運用が可能
- 事業の対象市場規模は大きい⇒他都市でも事業紹介依頼あり
- 今後は畜産排水対策も取り入れたシステムのブラッシュアップを進める

※本事業に関する問い合わせ先
株式会社建設技術研究所 東京本社 水システム部
根岸(negishi@ctie.co.jp)、鈴木(suzuki-hideyuki@ctie.co.jp)